

2020年度国立歴史民俗博物館総合資料学全体集会
2021年3月7日 オンライン開催

令和2(2020)年度国立歴史民俗博物館 総合資料学 奨励研究

TEIを用いた『渋沢栄一伝記資料』 テキストデータの再構築と活用

金 甫榮(公益財団法人渋沢栄一記念財団)

永崎 研宣(一般財団法人人文情報学研究所) | 中村 覚(東京大学史料編纂所)

小風 尚樹(千葉大学) | 橋本 雄太(国立歴史民俗博物館)

研究協力: 茂原暢 / 井上さやか(公益財団法人渋沢栄一記念財団)

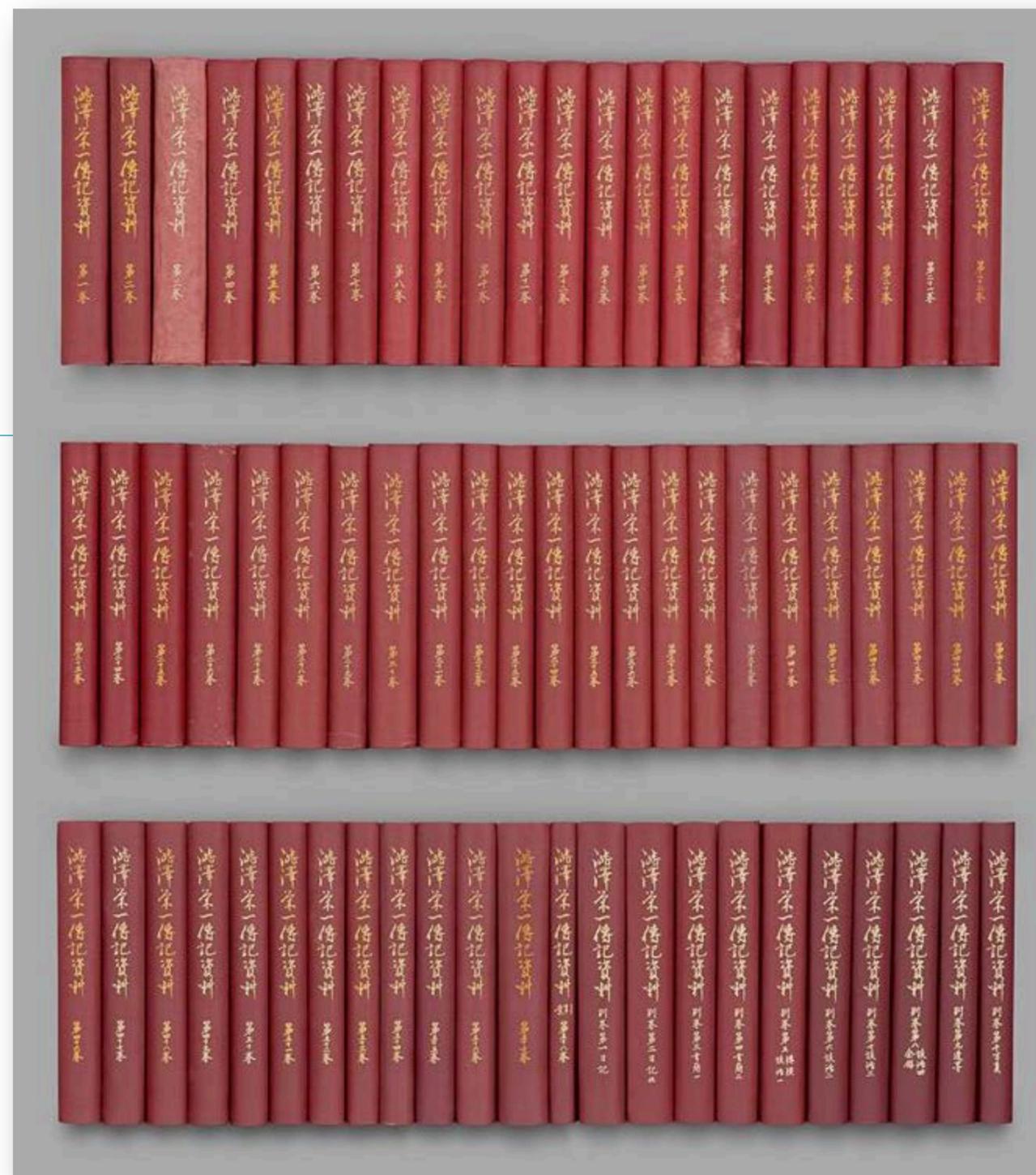
目次

1. 研究対象
2. 研究目的
3. 研究内容
 - 3.1 TEIマークアップ
 - 3.2 可視化と分析
4. 研究成果
5. 今後の課題

1. 研究対象

『渋沢栄一伝記資料』

- 全68巻(本編58巻、別巻10巻)
- テキスト化
 - 2004年から開始 (DOC, TXT)
 - 1～57巻を2016年インターネット公開
 - 別巻は未公開のまま



別巻の構成

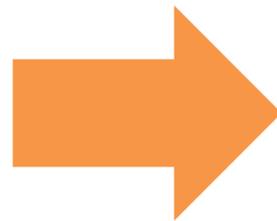
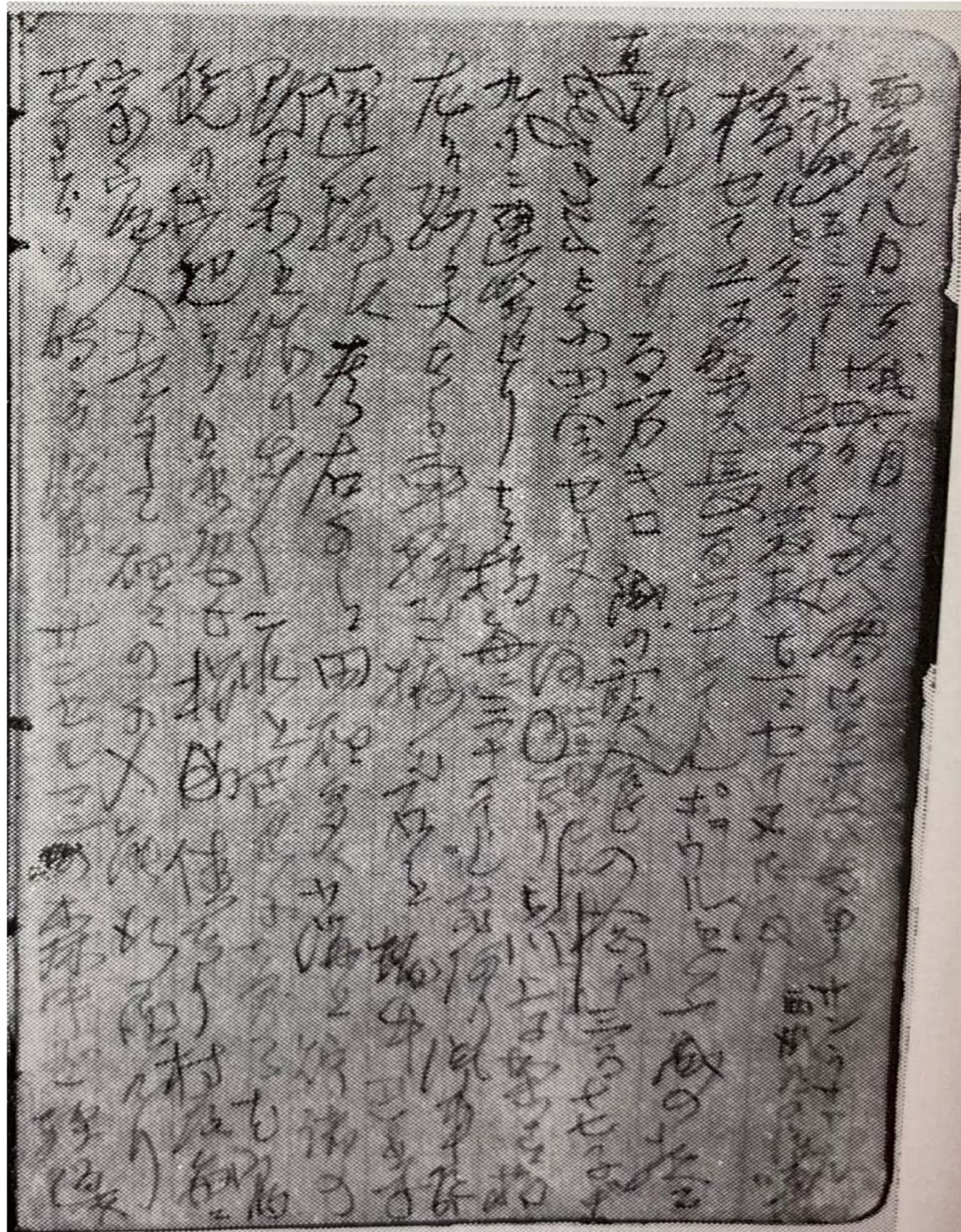


『渋沢栄一伝記資料』別巻第1図版より

別巻	日記	慶応4年-大正3年	1
		大正4年-昭和5年、集会日時通知表	2
	書簡	あ-そ	3
		た-わ、補遺 宛人名人名録	4
	講演		5
	談話	雨夜譚、雨夜譚会談話筆記	
		青淵百話、新聞・雑誌に掲載せられたる談話 明治期-大正期	6
		新聞・雑誌に掲載せられたる談話 大正期	7
		新聞・雑誌に掲載せられたる談話 大正期-昭和期、余録	8
	遺墨		9
写真		10	

本研究の対象

日記の例



自慶応四年六月十四日
至明治元年十一月二日

1868

○ 原本概要

体裁。洋綴手帖。15.7cm×9.3cm。厚サ0.8cm。表紙
黒革。見返し、マーブル。細鉛筆挿付(破損)。コ
ム組紐付。

本文。用紙淡青色方眼紙。全六十一葉(二三頁)。他
ニ一葉破棄セシ跡アリ。見返し、前後共本文側裏面ニ
本文用紙ヲ貼ル。記入ハ此ノ頁ヨリナサレタレバ、総
記入ハ二三四頁。総テ鉛筆書キ。
中間記入覚書、末尾記入覚書ハ共ニ逆ノ方面ヨリ記入
サル。

西曆 八月二日 我六月
十四日 西街道の汽車場
朝八時御出発、八時半サンラサール、九時五ミニユート、同所御発
輓、直ニセイヌ御渡リ
ダニールと名ク橋セイヌに架ス、長百六十メートル、ボラウルと云
ふ鉄の類ニ而作ル、重サ百万キロ、鉄の突合せの檢テ三百十七ネヂ、
直ニ Bezons といふ田舎セーメの河上に架するなり、川上に架す橋

九ツニ連架せり、沓橋毎ニ三十メートル宛あり、汽車道の左は総而大
なる車輪を拵置、石を掘出し、巴里に運輸す、其右手は田畑多く、小
溝を貯、諸の野菜を作り出し、これを巴里に売る、尤富饒の土地ニ而
景色も稍佳なり、村落毎ニ家富、人豊にして畑ノ手入能行届けり
巴里ハ半時ニ而汽車サンセルマンの森中を経過ス
première station de Paris. où il y a grand marché ou bien la
(provision) (boucherie)
provisionner de boucherie de Paris. il y a une maison de détention
(condamnés)
C'est où l'on garde les hommes condamnant à morts. pont sur
la Seine 37 arche, les grands qui ne sont pas égaux. 十時十
五分 Mantes といふ所着、巴里ハ十五里、tunnel de Manvoisin 地道
七百メートルといふ、十時四十五分 Buail といふ所着、十一時式十
五分 Evreux といふ一小市街に添せて過る、汽車中ニ而午餐、しか
も貯整たレハ、毎事餐着の差支なし、十一時四十五分 Conches 着
十二時 Beaumont-le-Roger 着、十二時十五分 Serquigny 着、小
憩、此辺ボナムの樹多し、土地饒にして小山多し、樹木叢茂して風色
美なり、此辺葺屋 chaumière 多し、女牛羊を飼ふ、昔時は多く民家
葺屋を用へしが、近来政府これを禁す、これ火災を恐るゝ為なり、唯
牛羊を飼ふに用ふ、此辺多く獸畜を飼養ひ、巴里に鬻ふ、此辺草野多
し、牛羊を養ふ bdrage を多く拵置て草野の乾燥せし節、水を草野に
灑ぐ、十二時四十分 Bernay 着、一の市街なり、Il y a des non-
breuses fabriques des toiles 第一時 Saint-Mards-orbec 着、一時二
十分 Lisieux 着、繁華の地也、麻の製作所多し、巴里ハ四十八里、

『渋沢栄一伝記資料』別巻第1図版より 日記 慶応4年6月14日

◆◆4100000000◆◆
▼▼DKB10001m▼▼
★★B1001★

●● 自慶応四年六月十四日至明治元年十一月二日 1868●●

○原本概要

体裁。洋綴手帖。15.7cm×9.3cm.厚サ、0.8cm表紙黒革。見返シ、マール。細鉛筆挿付(破損ス)。ゴム組紐付。

本文。用紙淡青色方眼紙。全六十一葉(一二二頁)。他二一葉破棄セシ跡アリ。見返シ、前後共本文側裏面ニ本文用紙ヲ貼ル。記入ハ此ノ頁ヨリナサレタレバ、総記入ハ一ニ四頁。総テ鉛筆書キ。

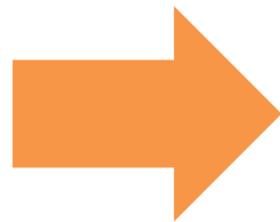
中間記入覚書、末尾記入覚書ハ共ニ逆ノ方面ヨリ記入サル。

西曆 八月二日 我六月十四日

朝八時御出発、八時半サンラサアール《西街道の汽車站》、九時五ミニユート、同所御発軔、直ニセイヌ御渡り

ダニールと名ク橋セイヌに架ス、長百六十メートル、ポヲウルと云ふ鉄の類ニ而作ル、重サ百万キロ、鉄の突合せの捻チ三百十七ネチ、直ニBezonsといふ田舎セーヌの河上に架するなり、川上に架す橋九ツニ連架せり、壱橋毎ニ三十メートル宛あり、汽車站の左は総而大なる車輪を拵置、石を掘出し、巴里に運輸す、其右手は田畑多く、小溝を貯、諸の野菜を作り出し、これを巴里に売る、尤富饒の土地ニ而景色も稍佳なり、村落毎ニ家富、人豊にして畑々の手入能行届けり

巴里より半時ニ而汽車サンセルマンの森中を經過ス



廿九日(木)	午前八時	佐藤女史来約(飛鳥山)
	//	小竹即一氏来約
	//八半時	木村雄次氏来約(飛鳥山)
	午前十一時	首相官邸御訪門《(問)》
	午後二時	帝国ホテルニテ米国大使ニ御面会
	午後三時	尾高、芳賀両家結婚式(日比谷大神宮)
	引続後五半	御披露晚餐会(帝国ホテル)
三十日(金)	午前九時	木島孝蔵氏来約(事務所)
	午前十時	修養団理事会(事務所)
	午前十時	オロセ・ウエース氏来約(事務所)
	午後〇半時	三井男爵催ウツツ米大使送別会(今井町三井邸)
	午後三時	リーブリック氏講演会(女子大学)
	午後六時	御同族会(事務所)
卅一日(土)	午后三時	ヘボン講座委員会(帝大本部)
六月		
一日(日)	午後四時	中外商業新報社催向上助成会ノ為ニ御講演ノ約(同新報社)
	午後五半時	浅野総一郎氏ヨリ御案内(同氏邸)
二日(月)	午前十一時二十分	摂政宮殿下御婚儀御饗宴ニ付参内
	午後二時	協調会理事会(同会館)
	午后三時	吉池慶正、神田鐳蔵氏来約(事務所)
	午後七時	日米関係委員会催ウツツ大使送別会 (帝国ホテル)燕尾服勲章ナシ

2. 研究目的

既存テキストデータの課題

- 『伝記資料』別巻の内容や構造を再現できているか？
- 長期保存に耐える形式なのか？
- データが何者かがわかるような形なのか？

TEIマークアップによる課題解決と更なる成果

- 近現代日本語資料のTEIマークアップ手法の提案
- 可視化と分析による多角的な研究アプローチの提案
- アーカイブズ資料への応用可能性の考察

3. 研究内容

3.1 TEIマークアップ

- 『伝記資料』別巻の特徴を考慮したマークアップ方針
- 既存テキストデータを活用した半自動処理を実施
- 日本語特有の表現に対するマークアップ方法について考察

3.2 可視化と分析(公開サイトに反映)

- 日記と集会日時通知表の特徴を活かした日付、時間、人名、地名を活用
- GitHub上で公開サイトを構築

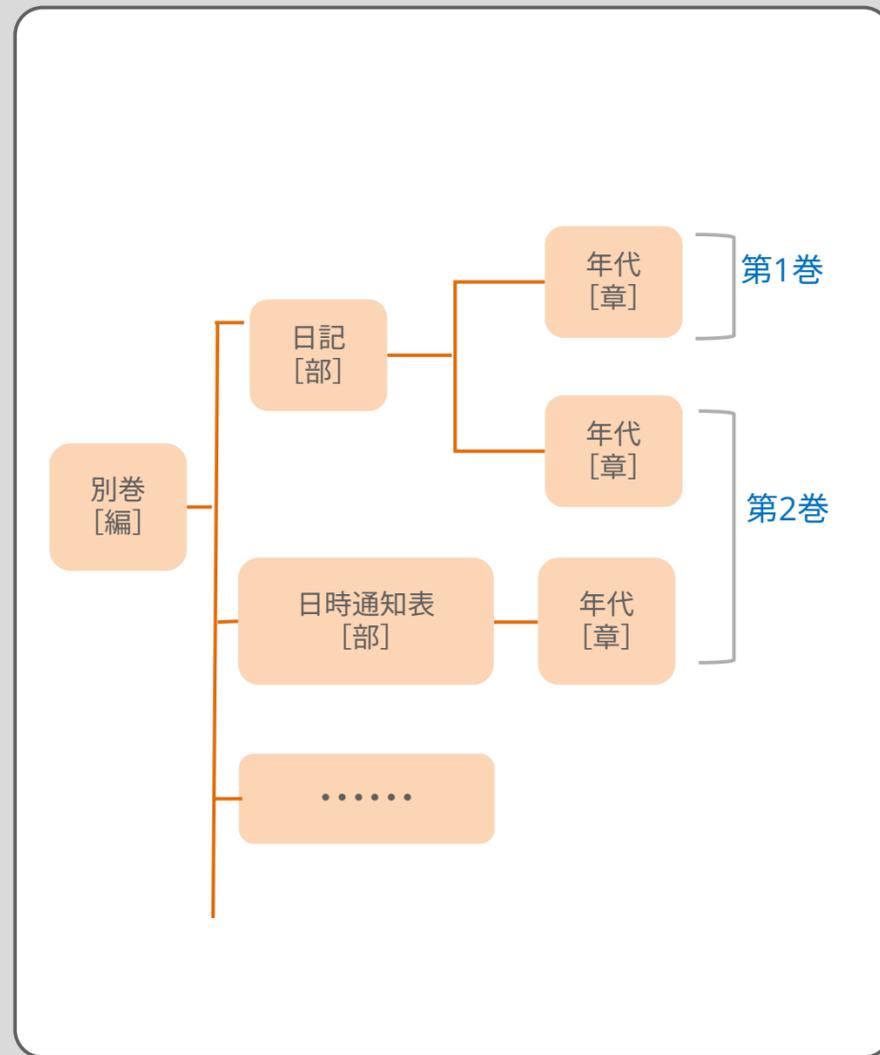
3.1 TEIマークアップ

基盤となる構造化されたデータの作成

『伝記資料』別巻の特徴を考慮したマークアップ方針1

- 物理的構造: 表紙, 凡例, 解題, 目次, 本文, 奥付などの1冊の書籍としての構成
- 内容的構造: 編・部・章・節などの全体の内容的構成、本文内容構成

別巻1~2の全体構造



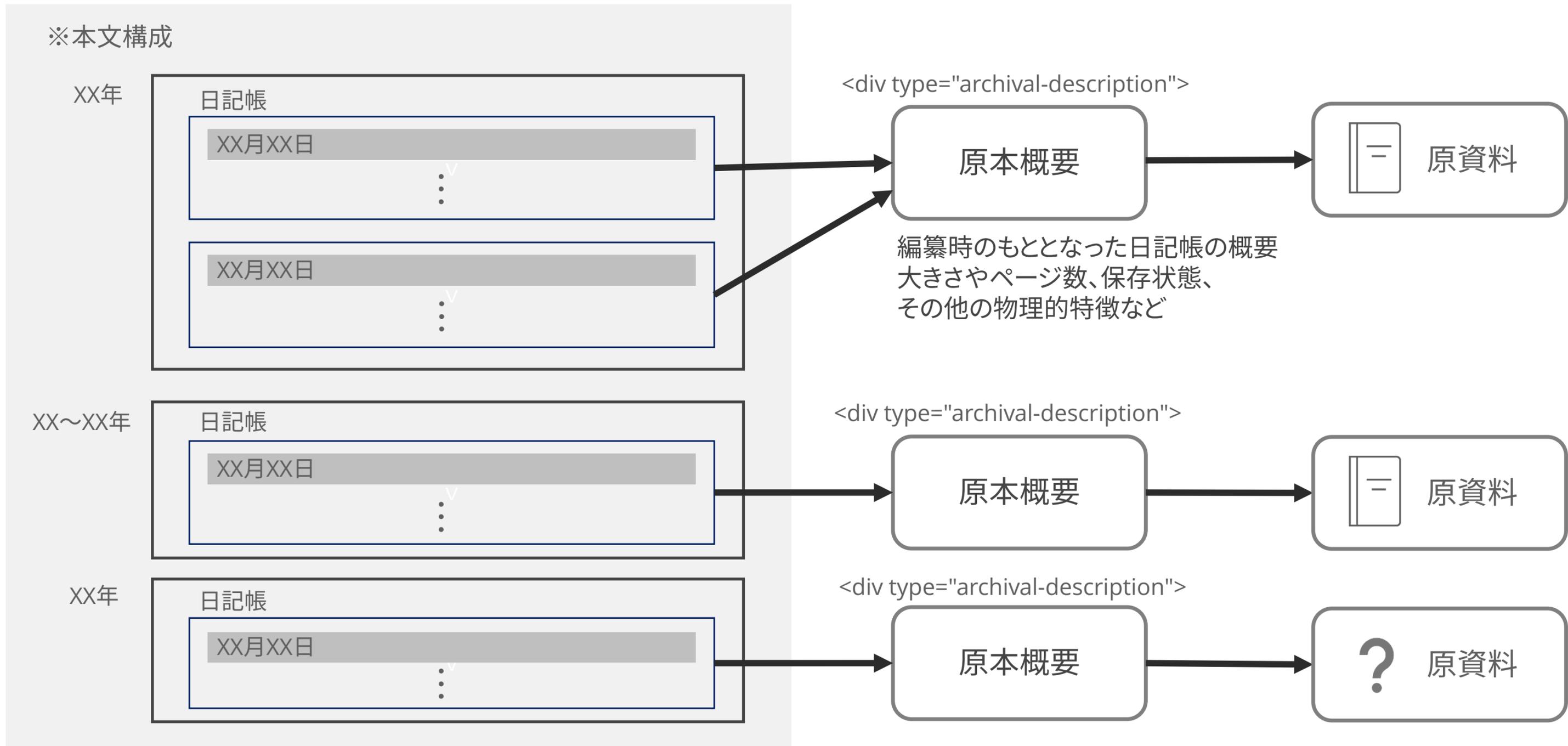
日記本文構造

集会日時通知表本文構造

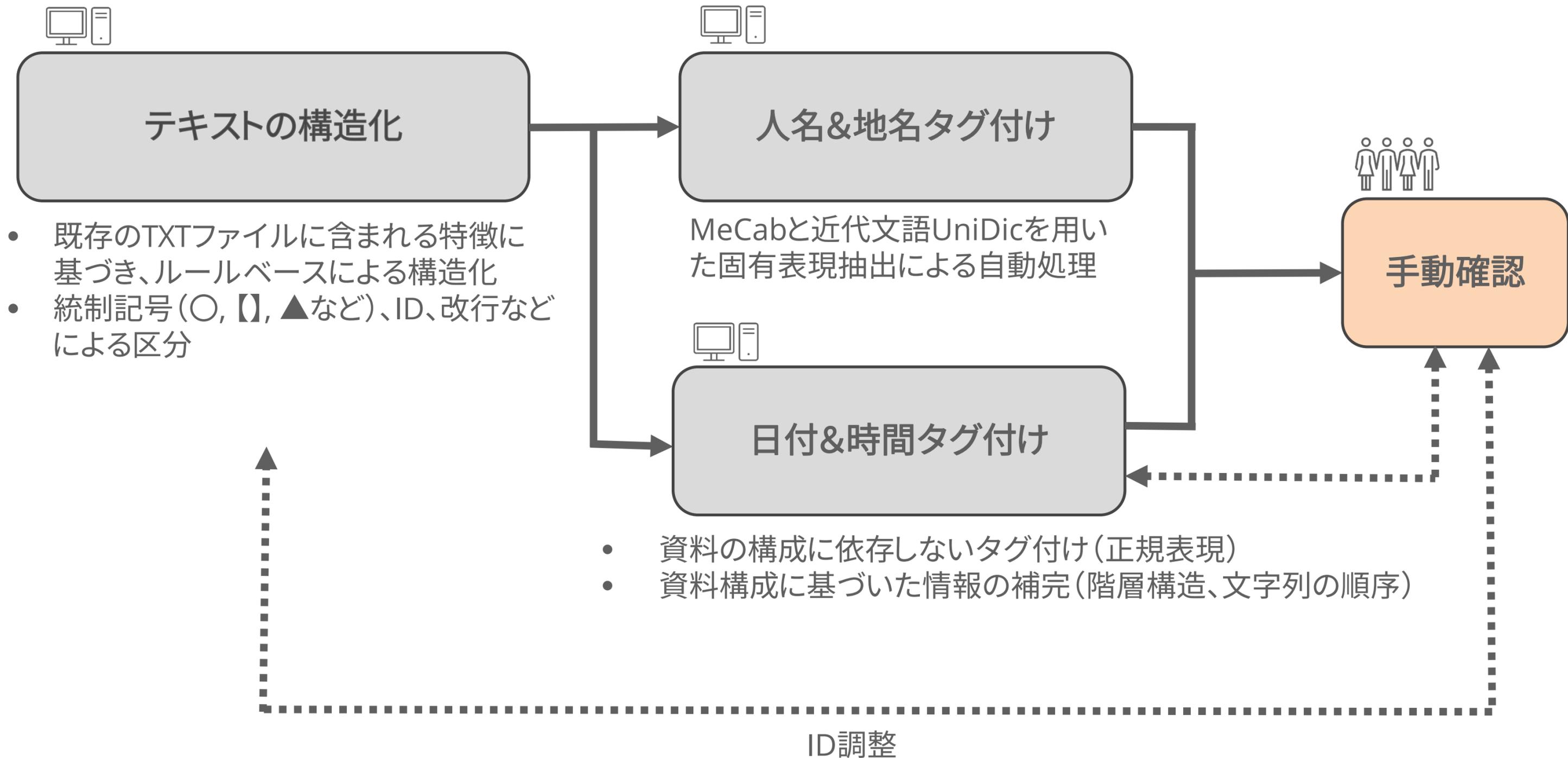
※参考: TEIを用いた『渋沢栄一伝記資料』テキストデータの再構築, じんもんこん2020論文集, pp.47-52, 2020

『伝記資料』別巻の特徴を考慮したマークアップ方針2

- もととなった資料の来歴情報や出所といった**コンテキスト情報**を明確に表現すること



既存テキストデータを活用した半自動処理



日本語特有のマークアップ方法の考察

1. 縦書きを横書きのテキストにする際の問題

2. 割書

※参考:TEIを用いた『渋沢栄一伝記資料』テキストデータの再構築, じんもんこん2020論文集, pp.47-52, 2020

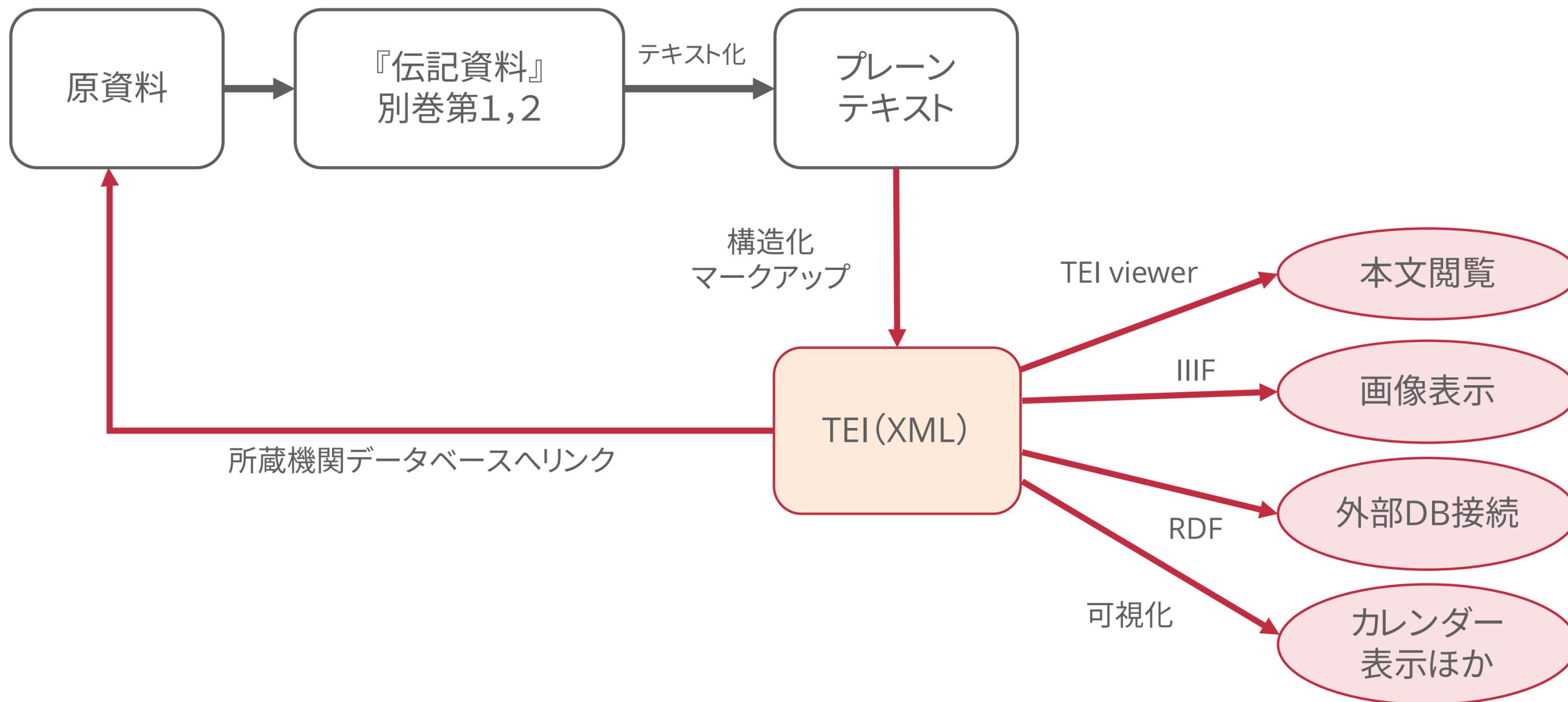
- 上記のような課題は見つかったものの、詳細なテキストの表現までは至らなかった
- 検討できなかった様々な表現がある(ルビ、記号、イメージなど)
- ページ画像の確認が必要な状況
- 今後の課題としたい



3.2 可視化と分析について

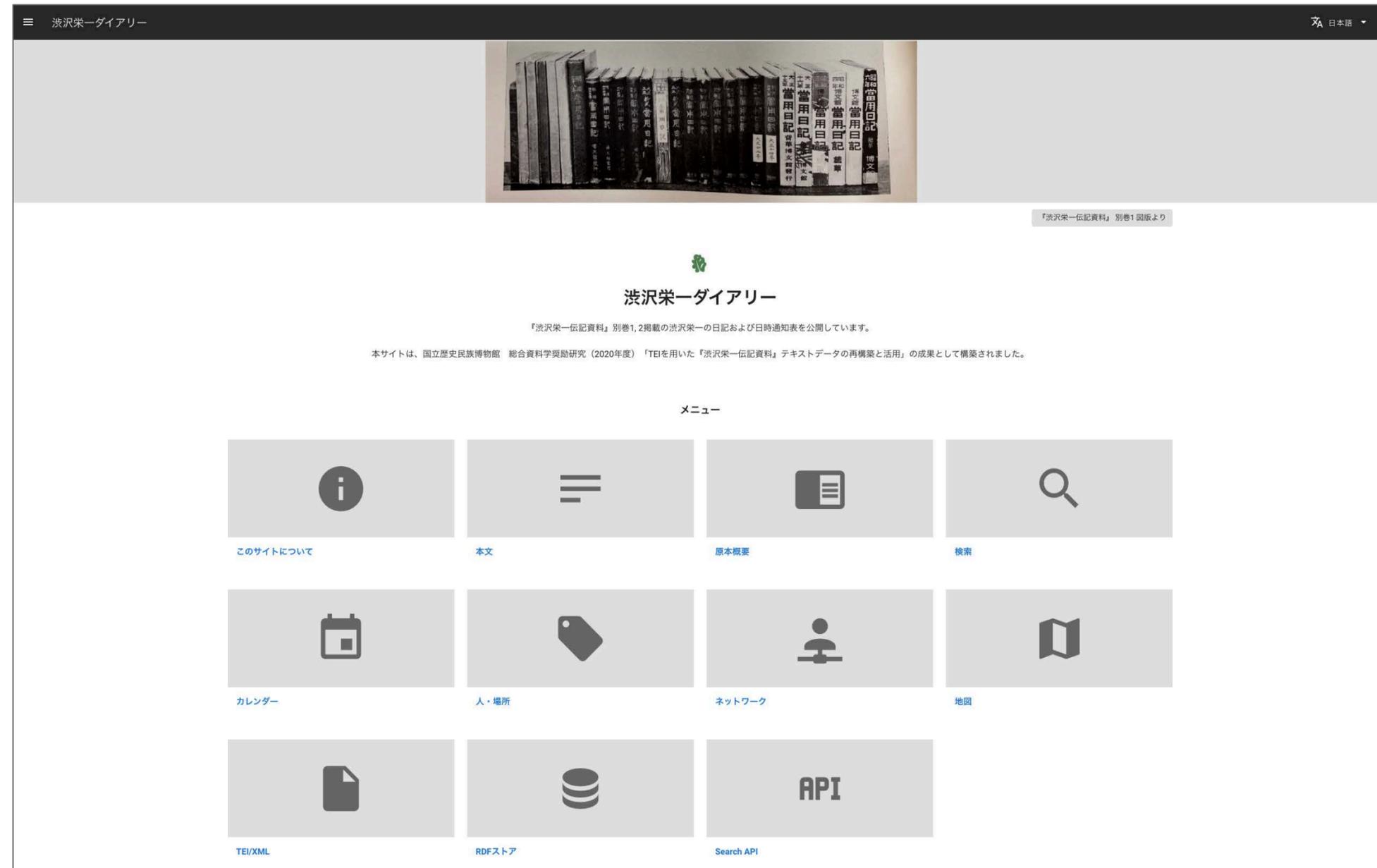
多角的な視点から資料を眺める

全体像



公開サイトTOP

- 2021年春公開を目指して構築中
- 今回紹介するサイトの、特に可視化部分については、実験的な取り組み内容を含むため一部不正確・不確実な部分も存在。今後改善していく。



全文表示

- TEI Viewerによる全文表示、IIIF Viewerによる画像表示
- TEIで構造化されたテキストデータの階層構造を活用したコンテンツ(目次)の表示

The screenshot displays a digital viewer interface. On the left, a 'コンテンツ' (Contents) sidebar lists various entries, including dates and titles like '甲申京撰巡回日記'. The main area shows a page of text with a section titled '八月四日 六月十六日 曇 火' highlighted in blue. The text below this title describes a journey, mentioning '第七時 旅宿を御発し' and '第十時半頃細雨'. The interface includes navigation arrows and a language dropdown set to '日本語'.

コンテンツ

- 自 慶応四年六月十四日 至 明治元年十一月二
- 自 明治元年十一月三日 至同 二年正月十八日
- 自 明治二年十月二十一日 至同年十一月十九
- 明治十七年 1884
- 甲申京撰巡回日記 (株式会社第
- 明治十九年 1886
- 明治三十二年 1899
- 自 明治三十三年一月 至 明治三十四年五月 1
- 自 明治三十四年五月 至 明治三十五年八月 1
- 自 明治三十五年八月 至 明治三十六年十一月
- 自 明治三十六年十一月 至 明治三十七年四月
- 明治三十八年 1905
- 明治三十九年 1906

八月四日 六月十六日 曇 火

第七時 旅宿を御発し、一昨日到着せし汽車場ニ而汽車乗組、第八時十五分発軻、第十時半頃細雨、十一時十五分カン着、ホテル・デ・アングレテイルといふ客舎御投館、第一時御旅宿を御発し馬車ニ而市街中にある陣馬飼置所御一覽、厩四棟、厓棟凡百五十宛の馬を安置けり、外二病馬□所(養力)、鉄沓及馬手入等整たり、夫より市街を行過、第二時半カンより三里、Fontaine-Henriといふいと古き城に着、此地昔時 仏国 封建たりし時、去ル諸侯の住居せし由、其城郭小高き所ニ而水を帯、然も昔時は堅固に見へたりし、今は唯富農の住居にして昔日の姿はなしといふ、第三時四十五分帰路を取り、第四時半カン着、此日馬車中の往返路傍に農夫の耕作する様、麦、菜種其外の作為せる風情、御国の田家と其趣の類せるを見て殆幽情を催す、第四時カン着より市中及小湊、古寺、遊歩場其外御巡覽、四時半 御帰宿市中に小き河あり、舟船■湊(輻)す、小湊をなす、此地人口四万八千人第六時二十分カン発軻、第七時 Mezon 《Mezidon》といふ処ニ而小憩し、夕方より雲晴 天気 朗 清 なり、 OnquiteauMezdon 《(Mezidon) 》 lalignedeParisCherbourg.pourallerprendreauMans,lalignedeParisBrest.Cetimbranchement 《(embranchement) 》 passeparAlencon,cheflieududepartementdeOrne.夜 第十一時半マン着、十二時投宿いたす 《hoteldudauphin》

ICViewer Embedded | 公益財団法人渋沢栄一記念財団 Shibusawa Eiichi Memorial Foundation

もとなつた資料への結びつけ

テキストの構造化により**原資料**と**該当テキストのつながり**を実現 (archival-description属性を活用)

『渋沢栄一伝記資料』別巻1, 2の原本 (もとなつた資料) リスト

DKB01 渋沢栄一伝記資料. 別巻第1 日記 (慶応4年-大正3年)



自 慶応四年六月十四日 至 明治元年十一月二日 1868



自 明治元年十一月三日 至同 二年正月十八日 1868—1869



自 明治二年十月二十一日 至同年十一月十九日 1869



明治十七年 1884



甲申京摂巡回日記
(株式会社第一銀行京都支店所蔵)



明治十九年 1886



明治三十二年 1899



自 明治三十三年一月 至 明治三十四年五月 1900—1901

自 慶応四年六月十四日 至 明治元年十一月二日 1868

○原本概要

伝記資料編纂時の資料情報

体裁。洋綴手帖。15.7cm×9.3cm.厚サ、0.8cm表紙黒革。見返シ、マーブル。細鉛筆挿付（破損ス）。ゴム組紐付。

本文。用紙淡青色方眼紙。全六十一葉（一二二頁）。他二一葉破棄セシ跡アリ。見返シ、前後共本文側裏面ニ本文用紙ヲ貼ル。記入ハ此ノ頁ヨリナサレタレバ、総記入ハ一ニ四頁。総テ鉛筆書キ。

中間記入覚書、末尾記入覚書ハ共ニ逆ノ方面ヨリ記入サル。

所蔵（伝記資料別巻第1発行1965年時）

文部省史料館

所蔵（2020年現在）

国文学研究資料館（日本実業史博物館コレクション）:37TGH-0955-0001-0000

画像公開URL

http://base1.nijl.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002

画像公開機関

国文研実業史博物館コレクションデータベース (http://base1.nijl.ac.jp/~jituahaku/)

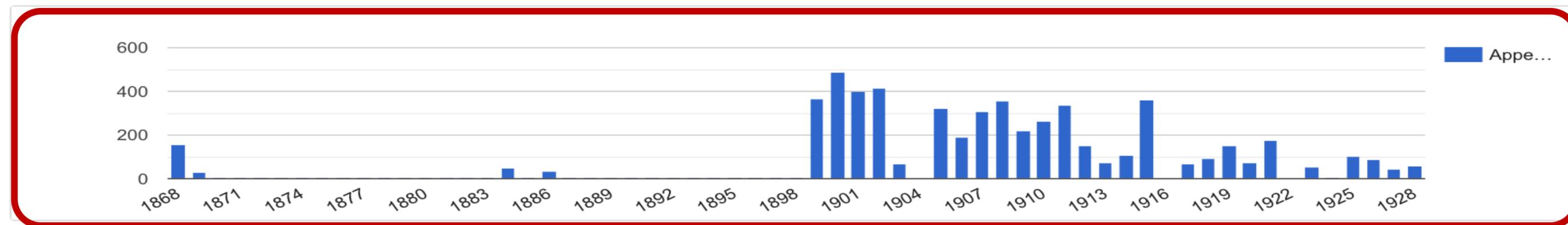
🔍 本文検索



タグ付けによる可視化一日付、時間

時間情報を軸とし、多角的な観点からテキストを表示

カレンダー



年別
合計

1868	1月 79	2月 36	3月	4月	5月	6月 10	7月 4	8月 6	9月 17	10月 5	11月	12月
1869	1月 19	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 8	11月	12月
1870	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1871	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1872	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1873	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1874	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

年別分布

< > 1906年1月 月 ▾

日	月	火	水	木	金	土
31日	1月 1日 一月一日 曇 風	2日 一月二日 晴 無風	3日 一月三日 快晴 風ナシ	4日 一月四日 快晴 風ナシ	5日 一月五日 曇 風ナシ	6日 一月六日 晴 風ナシ
7日 一月七日 曇 風ナシ	8日 一月八日 晴 風ナシ	9日 一月九日 晴 風ナシ	10日 一月十日 曇 風ナシ	11日 一月十一日 晴 風	12日 一月十二日 晴 風ナシ	13日 一月十三日 晴 風ナシ
14日 一月十四日 晴 風ナシ	15日 一月十五日 晴 風ナシ	16日 一月十六日 晴 風ナシ	17日 一月十七日 晴 風ナシ	18日 一月十八日 曇 風ナシ	19日 一月十九日 曇夜二入りテ強雨	20日 一月二十日 晴 風ナシ
21日 一月二十一日 晴 風ナシ	22日 一月二十二日 晴 寒甚シ	23日 一月二十三日 晴 風寒シ	24日 一月二十四日 曇 寒	25日 一月二十五日 曇 風ナシ	26日 一月二十六日 晴 風ナシ午後	27日 一月二十七日 晴 風ナシ
28日 一月二十八日 晴 風寒シ	29日 一月二十九日 晴 風ナシ	30日 一月三十日 晴 軽暖	31日 一月三十一日 晴 風ナシ	2日	3日	

月別分布

日別時系列表示

< > 1906年1月

時	月 1日	火 2日
0時		
7時	午前七時起床、家人ノ新年祝賀ヲ受ケ、7時-7時	午前六時半起床、直ニ入浴ス、浴後日記ヲ整理シ
8時	八時朝飯ヲ畢リ、8時-8時	七時半朝飯ヲ畢リテ郊外ヲ散歩ス、7:30-7:30
9時		
10時	九時半兼子ト共ニ兜町事務所ニ抵リ親戚及事務員	
11時	十時半第一銀行ニ於テ行員一同ノ祝賀ヲ受ケ祝	十一時就寝、11時-11時
12時		十一時半帰宅、新聞紙ヲ一覽シ後午飯ヲ喫ス、
13時		
14時	二時三十分発ノ汽車ニ搭ス、国府津ニ寒ヲ避ケ	
15時		
16時	四時国府津館ニ到着ス夜、随鷗集ヲ読ム、16時-	

一月十八日 曇 風ナシ 起床七時 就寝十一時

一月十八日 曇 風ナシ 起床七時 就寝十一時

起床後書類ヲ調査ス、午前八時朝飯ヲ畢リ食後新聞紙ヲ一覽ス、午前十時事務所ニ抵リ事務ヲ処理シ、十二時商業会議所ニ抵リ東京瓦斯会社重役会ヲ開ク、畢テ午飯後株主総会ヲ開ク、總會畢テ三時銀行集会所ニ抵リ劇場新設ノ事ニ関シ協議会ヲ開ク、種々議論アリテ後兎ニ角一案調査ノ事ニ決シ委員七名ヲ定ム、余ハ自ラ委員長タリ、福沢、益田、高橋、田中、手塚、日比ノ六名ヲ指命ス、畢テ浜町常盤屋ニ抵リ鶴原、木内其他統監府ノ新官吏韓国行ノ送別会ヲ開ク、夜十時過王子別荘ニ帰宿ス

[詳細](#) キャンセル

日記本文

タグ付けによる可視化—人名、地名

- テキスト内の人名と地名に、RDFによる外部DB情報を接続 → 情報を拡張
- 人名→人物ネットワーク図の作成、位置情報→地図上にマッピング

人物 (1,639)

検索語を入力してください

< 1 2 3 ... 80 81 82 >

岸清一

児島惟謙

岩本栄之助

阪谷希一

市原盛宏

渡辺治右衛門

渡邊嘉一

渡邊嘉一

Wikipediaのサムネイルと説明文

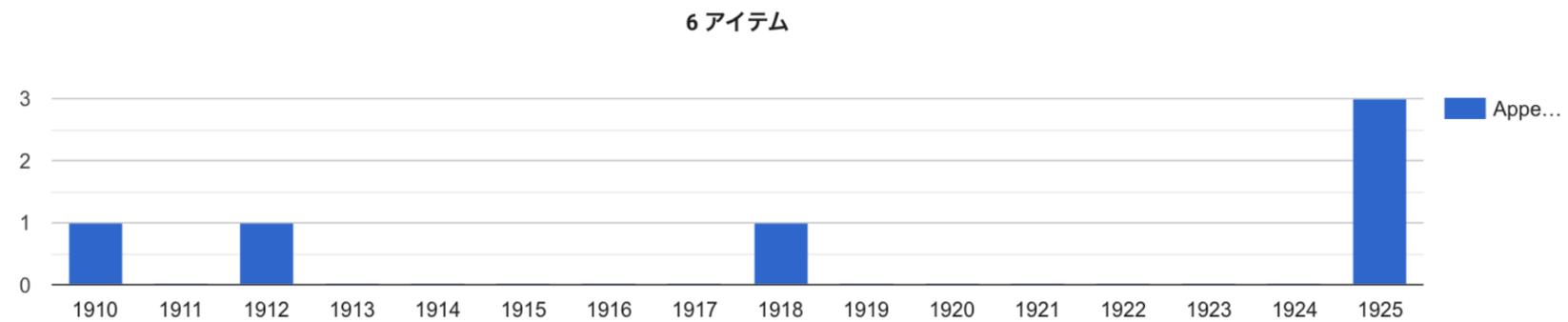


阪谷希一

大蔵官僚阪谷芳郎の長男として生まれる。第二高等学校を経て、東京帝国大学法科大学政治科に入学[3]。在学中に高等文官試験に合格し、1914年（大正3年）に卒業した[3]。卒業後は日本銀行に勤務し、本店、名古屋支店を経て、1920年（大正9年）からはロンドン支店に赴任した[1][3]。1924年（大正13年）、関東庁に転じ、事務官・財務部財務課長を務めた[3]。1929年（昭和4年）からは拓務書記官、資源局事務官、拓務大臣秘書官、拓務省殖産局長心得・南満州鉄道監理官・東洋拓殖監理官を歴任した[3]。



日記上の出現年と数



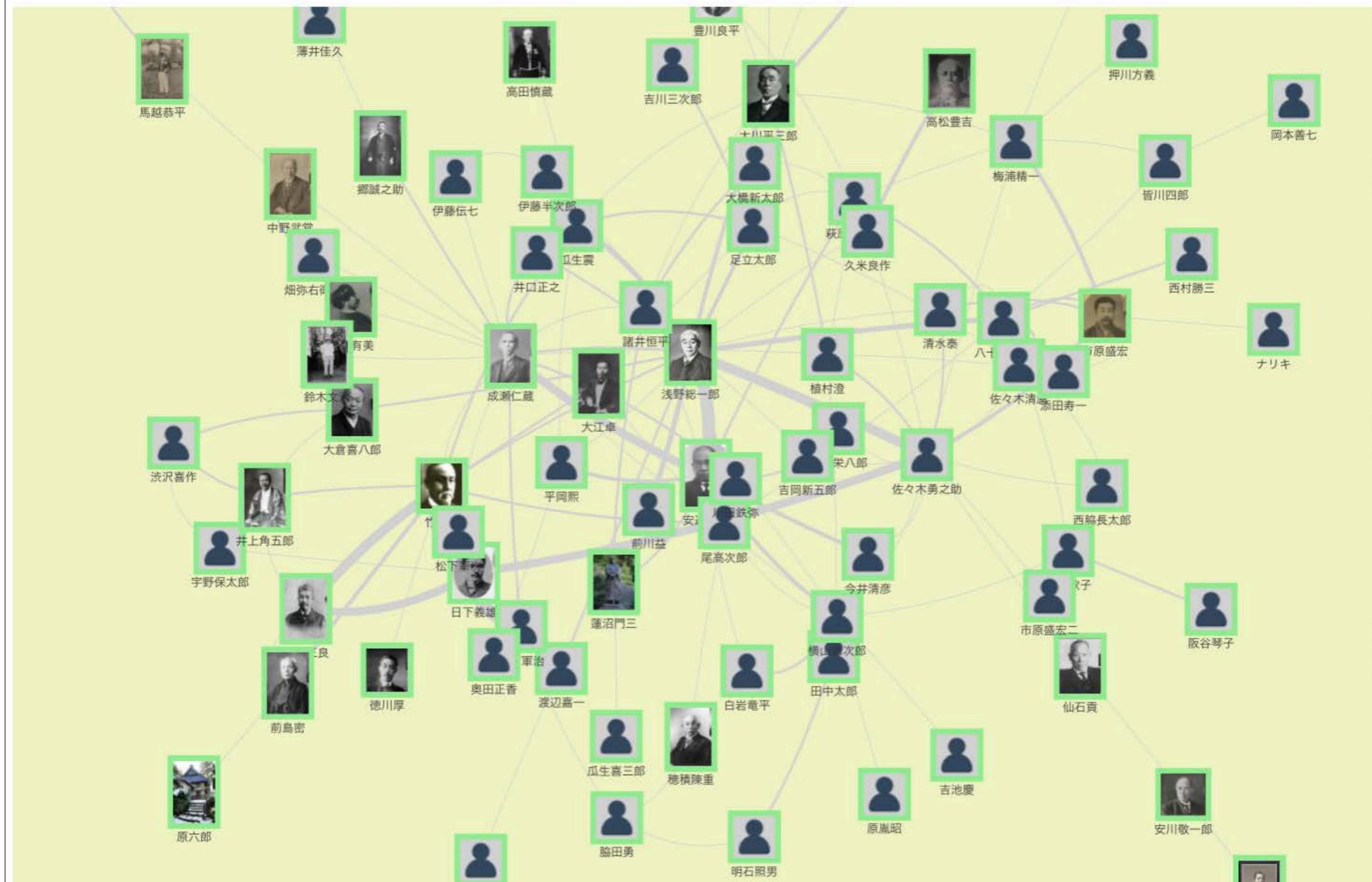
該当日記

アイテム 🔍

1910 (1)	八月三十日 火 晴 暑
1912 (1)	六月二十三日 日 晴 暑
1918 (1)	一月二十七日 日 曇 寒威昨日ニ比シテ少ク減スルヲ覚フ、夕方稍晴
1925 (3)	一月二十一日 水 晴 寒 二月一日 日 晴 寒甚シ 三月二十二日 日 快晴 寒

登場人物同士のネットワーク

同一の日記に3回以上登場する人物を繋げています。正確な関連性を知るためには、「つながりを表すアイテム」から本文をご覧ください。ノードをダブルクリックすることで、当該人物のネットワークに遷移します。



人物一覧

	浅野総一郎	91
	佐々木勇之助	60
	成瀬仁蔵	58
	安達憲忠	52
	竹内綱	50
	八十島親徳	34
	横山徳次郎	33
	大川平三郎	32
	日下義雄	29
	市原盛宏	27

浅野総一郎のネットワーク

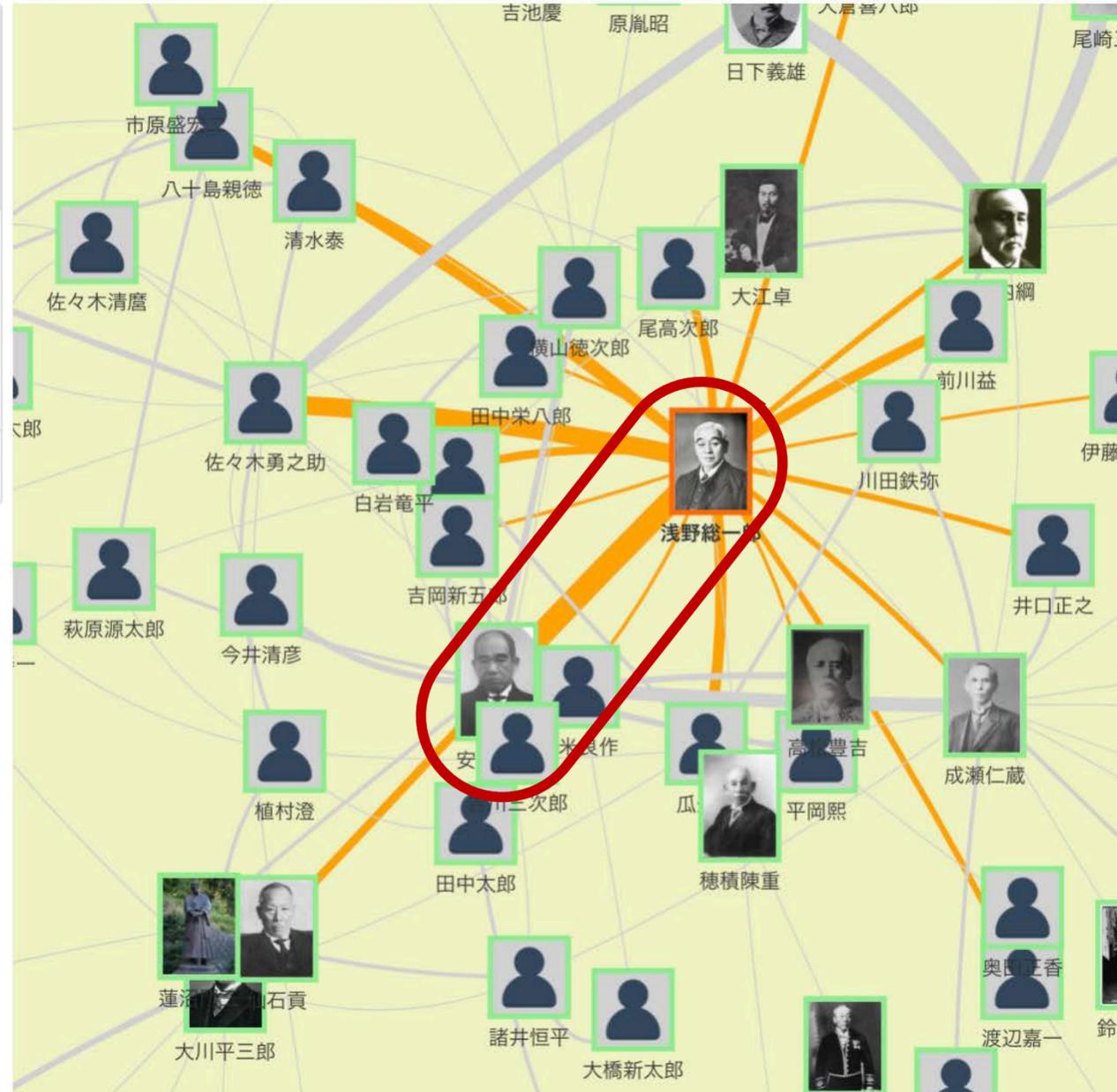
同一の日記に3回以上登場する人物を繋げています。正確な関連性を知るためには、「つながりを表すアイテム」から本文をご覧ください。ノードをダブルクリックすると遷移します。



浅野総一郎

浅野 総一郎（浅野總一郎 あさの そういちろう、1848年4月13日（嘉永元年3月10日） - 1930年（昭和5年）11月9日）は日本の実業家。一代で浅野財閥を築いた。

つながりを一覧する フォーカス



安達憲忠

安達 憲忠（あだち けんちゅう/のりただ、安政4年8月3日（1857年9月20日） - 昭和5年（1930年）12月2日）は、備前国赤坂郡小野田村（現・赤磐市熊山町）出身の社会実業家。東京市養育院幹事。



つながりを表すアイテム

五月二十八日 (DKB10009m-148) 1900-05-28

五月二十八日 曇、午前**安達憲忠**来ル、**浅野総一郎**氏来ル、韓国金鉱ノ事及浦賀船渠ノ事ヲ談話ス、十時東京商業会議所役員会ヲ会議所ニ開ク、同姓喜作雨宮敬次郎、小野金六諸氏来会ス、議事畢テ帝国ホテルニ抵リ曾根農商務大臣《曾禰》ヨリ案内セラレタル若松製鉄所ノ事業ニ関スル報告会ニ参席ス、和田長官及技師独乙人トツペー氏ヨリ詳細ノ演説アリタリ、畢テ井上伯及益田孝氏ト共ニ明後三十日白耳義人ウーチャー氏会見ノ事ヲ協議シ、午後二時ヲ以テ有楽町三井倶楽部ニ集会ノ事ヲ約シ、参会ヲ要スル人々ニ書状ヲ発スル事ヲ打合ハス、午後五時銀行集会所ニ抵リ銀行集会所、手形交換所、東京興信所等ノ申合ニ係リ叙爵祝賀ノ会ニ列ス、篤二及他ノ男児モ皆招宴セラル、式場八集会所ノ広間ニ於テ之ヲ開ク、会員一同相集リ余及篤ニ壇上ニ招シ、総代トシテ豊川良平氏祝詞ヲ朗読

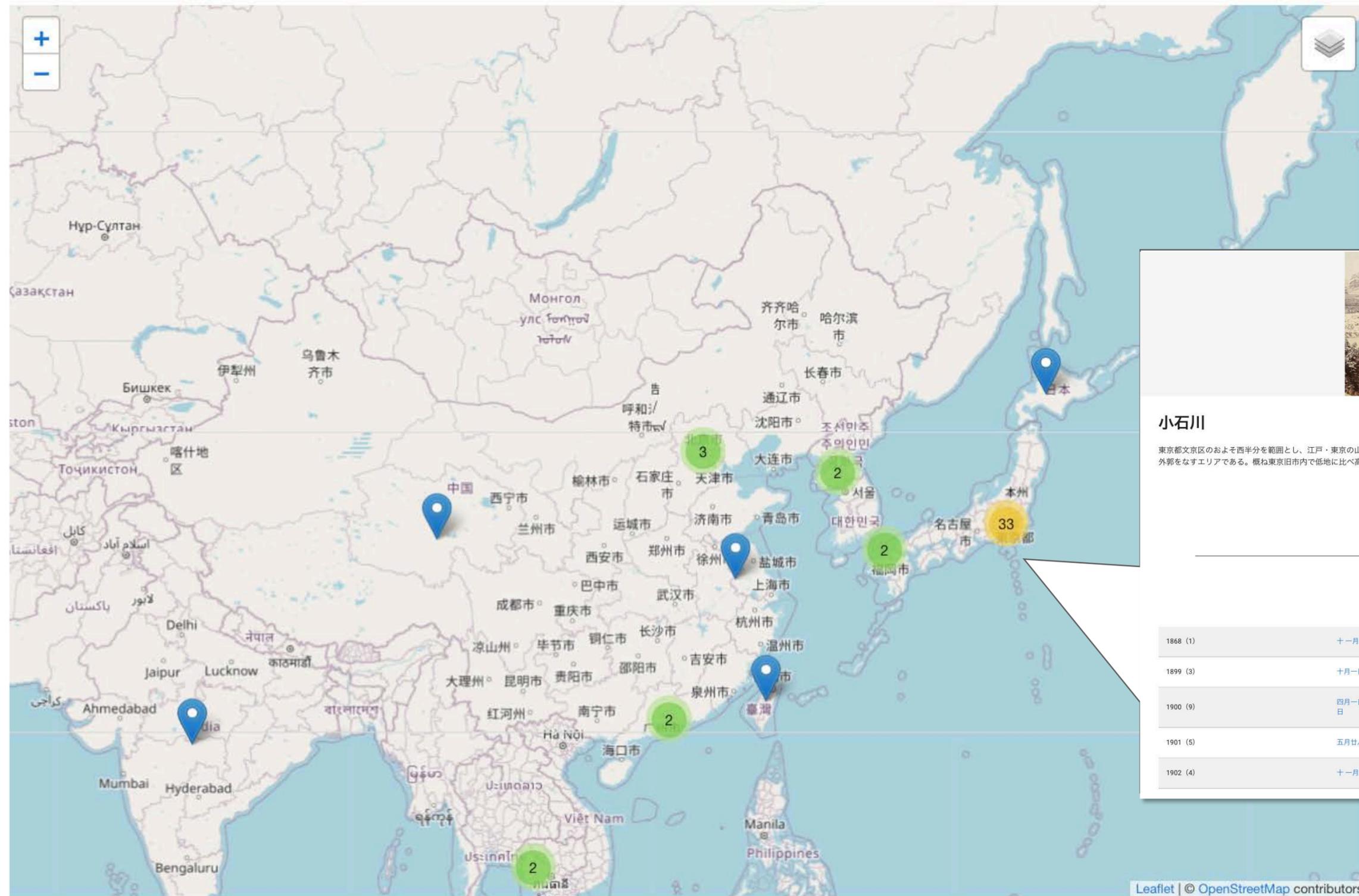
三月八日 (DKB10009m-432) 1900-03-08

三月八日 曇、午前、**浅野総一郎**氏来ル、磐城炭坑会社ノ事及長門無煙炭会社ノ事ヲ談ス、**安達憲忠**来ル、養育院ノ事ヲ談ス、午前十時築地京釜鉄道会社事務所ニ抵リ創立委員会ヲ開ク、大倉、尾崎、竹内、井上、日下諸氏来会ス、畢テ原逋信大臣ニ面会シテ京釜鉄道会社ノ事ヲ談ス、去テ末松内務大臣ヲ総理大臣官舎ニ訪ヒ堀田子爵ノ頼末ヲ告ク、午後五時銀行ニ出勤ス、六時深川宅ニ帰ル、山本、高橋、園田、三崎、豊川池田、三村、佐々木諸氏来会ス、夜食中及其前後ニ於テ経済上ノ要務ヲ談話ス、夜十一時散会ス

五月十一日 (DKB10011m-263) 1902-05-11

五月十一日 晴、午前七時朝飯ヲ畢リ、八時浜政弘来話ス、**安達憲忠**来ル、午後一時兜町事務所ニ抵リ英国人ユエント・ケン氏及同伴者セル・フレーザーニ氏ノ来訪ニ接ス、種々ノ談話ヲ為ス、三時半**浅野総一郎**氏来話ス、四時千家知事及電車、市街両鉄道重役牟田口、佐竹、野中、吉田高島ノ諸氏来会シ、両社合併ノ事ヲ協議ス、来ル十六日ヲ以テ両社ヨリ意見書提出ノ事ヲ約ス、五代竜作氏来ル、夜七時浜町宅ニ帰宿ス、午後五時過竹内綱氏来リ京釜鉄道会社ノ事ヲ談ス

地図



小石川

東京都文京区のおよそ西半分を範囲とし、江戸・東京の山手を構成している地域の一つである。小石川は芝・麻布・赤坂・四谷・牛込・本郷と並び、東京山手の外郭をなすエリアである。概ね東京旧市内で低地に比べ高台を多く占める旧区分を山手としている。そのため旧小石川区に属する小石川地域は山手に当たる。



47 アイテム

アイテム 🔍

1868 (1)	十一月四日 晴 水	十二月十七日
1899 (3)	十月一日 十月十日 十一月十八日	
1900 (9)	四月一日 五月二十七日 七月廿八日 二月四日 三月十九日 四月一日 四月二日 四月二十一日	
1901 (5)	五月廿八日 二月三日 三月二十一日 四月十四日 四月廿九日	
1902 (4)	十一月十六日 十一月十七日 二月廿二日 九月十九日	

Leaflet | © OpenStreetMap contributors

※Wikipediaから緯度経度情報が取得できた場合のみ

データの公開



このサイトについて



本文



原本概要



検索



カレンダー



人・場所



ネットワーク



地図



TEI/XML



RDFストア

API

Search API

別巻第1,2のデータセットを
研究開発で活用できるような形で公開

4. 研究成果

研究目的に沿ってまとめてみると...

■ 近現代日本語資料のTEIマークアップ手法の提案

- 内容的&物理的構造のマークアップ方法に関する考察
- 資料集を事例に、もととなった資料のかたまりを基準にして構造化する手法

■ 可視化と分析による多角的な研究アプローチの提案

- カレンダー、グラフ、ネットワーク図、地図による可視化
- テキストデータの全公開による研究へのデータ活用を支援

■ アーカイブズ資料への応用可能性の考察

- 原資料へのつながり → 原資料の活用促進
- 間接的ではあるが、原資料のTEIマークアップに参考になるのでは...

5. 今後の課題

1. 日本語特有の表現に対するTEIマークアップ手法の更なる考察
2. 時間、人名、地名タグのブラッシュアップ
3. この研究成果を『伝記資料』別巻第3～10の公開へどう活かすか...

『伝記資料』別巻には書簡や、講演、談話、写真など、研究材料がまだまだ残っている...



渋谷栄一ダイアリー

ご清聴ありがとうございました。